

ポルノグラフィーからグレート・マザーへ——日本人がハワイに投影するイメージの変化——

竹村 初美

この発表では、日本人によるハワイ表象の変遷を概略紹介した後、1990年代以降見られるようになった新たな傾向に注目を促した。

1990年代から流通し始めたハワイの新しいイメージ、それはマナに満ちた「癒しの島」「パワースポット」としてのハワイ像である。いわゆるスピリチュアル・ブームの広がりの中、ハワイの自然と文化、とりわけハワイ先住民の文化がスピリチュアルな商品として流通するようになった。より大きな文脈から見れば、これらは現代における宗教性の全域化と呼ばれる現象の一部を成すものである。

発表では、小説・旅行雑誌・パンフレットなどから事例を紹介し、スピリチュアル市場における「生命の島ハワイ」というイメージ流通の実際を示した。